

厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備運営事業
審査講評

令和3年3月30日

厚木愛甲環境施設組合
ごみ中間処理施設整備検討委員会 事業者選定専門部会

目 次

1	事業概要等	1
2	民間事業者の選定方法	1
3	選定部会の設置	2
4	民間事業者の募集及び選定等スケジュール	3
5	民間事業者の選定フロー	4
6	審査結果	5
7	総評	17

1 事業概要等

1.1 事業名称

厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備運営事業

1.2 対象となる公共施設等の種類

一般廃棄物処理施設

1.3 事業概要

厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備運営事業（以下「本事業」という。）は、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に準ずる事業として、新たな可燃ごみ等の処理施設等（以下「本施設」という。）を整備し、これを運営するものである。

なお、本事業は DBO 方式により実施するものとし、本施設の設計・施工業務は、民間事業者単独又は民間事業者が設立する共同企業体が行うものとし、ごみ中間処理施設の運営業務は、民間事業者が設立する特別目的会社が行うものとする。

1) 事業用地及び整備範囲

(1) 事業用地

事業用地：厚木市金田 1611-イ-1 ほか（約 5.5ha）

整備範囲：上記約 5.5ha 及びその周囲

2) 施設概要

(1) ごみ中間処理施設

① 高効率ごみ発電施設（全連続燃焼式ストーカ炉） 226t/日（113t/日・炉×2 炉）

② 粗大ごみ処理施設 12 t /日（5h）

(2) 災害廃棄物一時保管場所（緑地のエリア）

(3) 関連施設（要求水準書により整備される上記以外の全ての施設）

3) 供用開始

令和 7 年 12 月 1 日 予定

4) 事業期間

設計・施工期間：事業契約締結日（令和 3 年 8 月 予定）から令和 7 年 11 月 30 日まで

運営期間：令和 7 年 12 月 1 日から令和 27 年 11 月 30 日まで（20 年間）

2 民間事業者の選定方法

本事業を実施する民間事業者の選定に当たっては、競争性、公平性及び透明性を確保するため、設計・施工及び運営に関する技術、事業遂行能力等、並びに入札価格を総合的に評価し、最優秀提案者を選定する「総合評価一般競争入札」により実施した。

3 選定部会の設置

組合は、民間事業者の選定に係る審査に当たり、専門的、技術的見地から提案内容の検討を行い、評価する「厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会事業者選定専門部会」（以下「選定部会」という。）を設置し、以下のとおり8名の委員を選任した。

	氏 名	所 属
部会長	荒井 喜久雄	(公社)全国都市清掃会議 技術指導部長
委 員	横田 勇	静岡県立大学 名誉教授
委 員	宮脇 健太郎	明星大学 教授
委 員	山口 直也	青山学院大学大学院 教授
委 員	熊谷 健一	東京二十三区清掃一部事務組合 建設課長
委 員	片桐 亮	厚木市 循環型社会推進担当部長
委 員	和田 康	愛川町 環境経済部長
委 員	杉山 義則	清川村 税務住民課長

(順不同)

4 民間事業者の募集及び選定等スケジュール

民間事業者の募集及び選定等のスケジュールは、表 1 に示すとおりである。

表 1 民間事業者の選定スケジュール

スケジュール	内 容
令和 2 年 2 月 27 日(木)	◆第 1 回選定部会 事業概要説明、事業者選定スケジュール等の審議
令和 2 年 3 月 23 日(月)	◆第 2 回選定部会 実施方針(案)、要求水準書(案)(案)等の審議
令和 2 年 4 月 16 日(木)	実施方針、要求水準書(案)の公表
令和 2 年 6 月 15 日(月)	◆第 3 回選定部会 特定事業の評価・選定(案)、募集要項(案)等の審議
令和 2 年 6 月 22 日(月)	特定事業の評価・選定公表
令和 2 年 7 月 20 日(月)	◆第 4 回選定部会 契約書(案)(案)、様式集(案)等の審議
令和 2 年 8 月 7 日(金)	入札公告
令和 2 年 8 月 21 日(金)	参加資格審査に関する質問の受付締切
令和 2 年 9 月 1 日(火)	参加資格審査に関する質問への回答公表
令和 2 年 9 月 11 日(金)	参加資格審査申請書類の受付締切
令和 2 年 9 月 18 日(金)	参加資格審査結果の通知
令和 2 年 9 月 29 日(火)	募集要項に関する質問締切
令和 2 年 10 月 21 日(水)	募集要項に関する質問への回答公表
令和 2 年 11 月 20 日(金)	◆第 5 回選定部会 概要ヒアリング
令和 3 年 1 月 12 日(火)	事業提案書の受付締切
令和 3 年 2 月 16 日(火)	◆第 6 回選定部会 審査方法、提案書確認事項等の審議
令和 3 年 3 月 19 日(金)	◆第 7 回選定部会 本審査ヒアリング、非価格要素審査、価格審査、 最優秀提案者の選定、審査講評の審議
令和 3 年 3 月 24 日(水)	落札者決定について公表

5 民間事業者の選定フロー

民間事業者の選定の流れは、図 1 に示すとおりである。

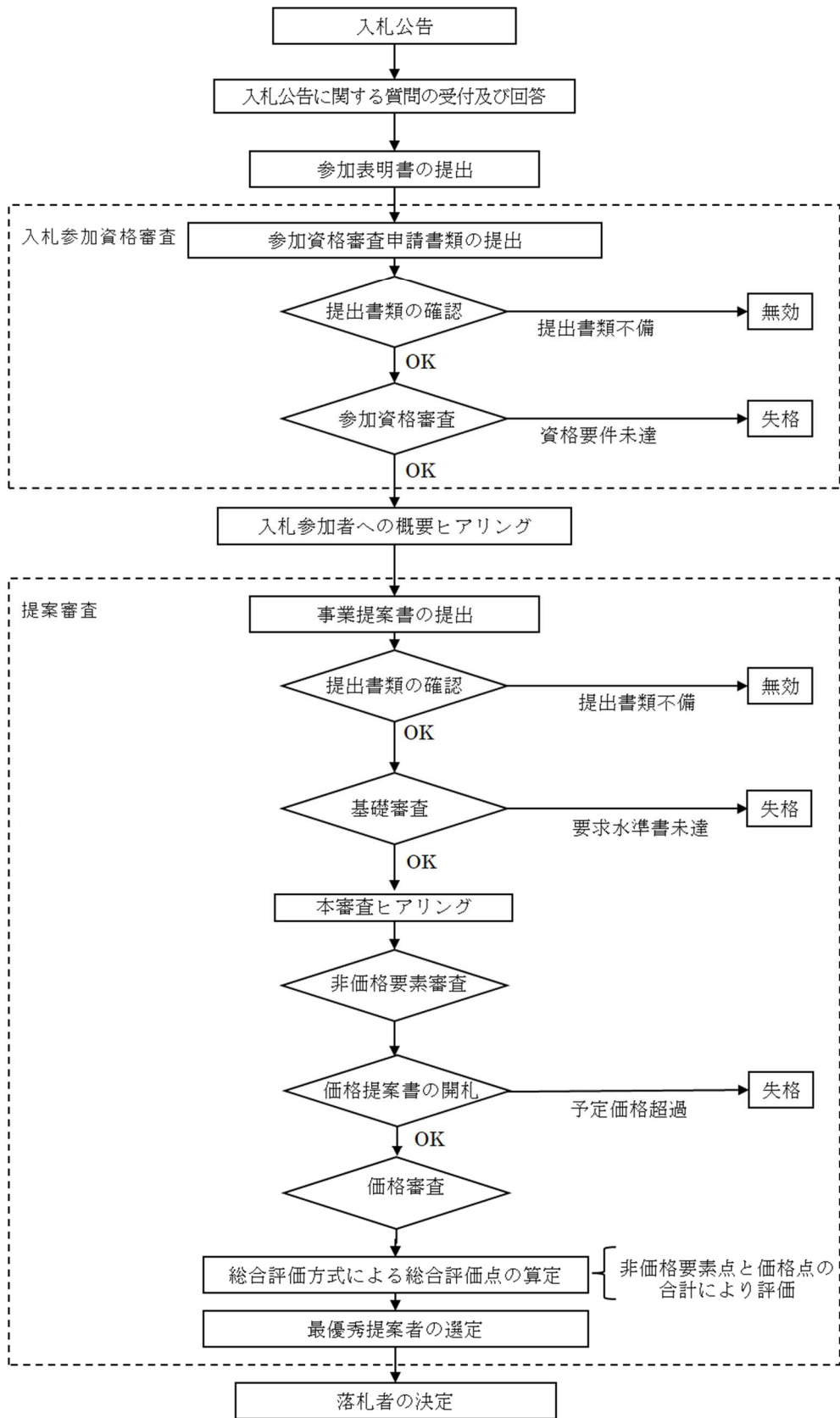


図 1 民間事業者の選定フロー

6 審査結果

民間事業者の選定に係る審査は、第1段階における入札参加資格審査、第2段階における提案審査で構成する。

6.1 入札参加資格審査

令和2年8月7日に入札公告を行い、参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けたところ、表2の1グループから令和2年9月11日に申請があった。

表2 参加表明者

グループ名	もみじグループ
代表企業	荏原環境プラント株式会社 営業本部
協力企業	株式会社熊谷組 横浜営業所 株式会社小島組 大野建設株式会社 新明和工業株式会社 流体事業部 営業本部 株式会社プロミティ

組合は、提出された参加表明書及び参加資格審査申請書類について、入札説明書に示す参加資格要件を全て満たしていることを確認し、表3に示す入札参加資格審査の結果を踏まえ、令和2年9月18日に代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表3 入札参加資格審査結果

審査項目	もみじグループ
1) 共通の参加資格要件	合格
2) 設計・施工に関する資格要件	合格
(1) プラントの設計・施工を行う企業	合格
(2) 建築物の施工を行う企業	合格
(3) 土木の設計を行う企業	合格
(4) 建築土木の施工を行う企業	合格
3) ごみ中間処理施設の運営を行う企業	合格

なお、選定部会による審査に当たっては、審査の公平性を期すため、事業提案書等全ての審査資料において企業名は伏せ、表2のグループ名により識別し、評価を行った。

また、選定部会において入札参加者への概要ヒアリングを実施し、提案概要についての対話を通じて、入札参加者の要求水準書に対する認識等の確認を行った。

6.2 提案審査

1) 基礎審査

令和3年1月12日にもみじグループから事業提案書が提出された。

提出された事業提案書について、提出書類の確認と、事業提案書の内容が要求水準を満たしているかの審査を行った。

その結果、表4のとおり、もみじグループは、組合が要求する水準を満足していたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

表4 基礎審査結果

審査項目	もみじグループ
1) 提出書類の確認	合格
2) 基礎審査	合格

2) 提案審査

(1) 非価格要素審査

令和3年3月19日に、選定部会において非価格要素提案書の審査を行った。審査に当たり、事業提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。

具体的には、入札参加者から提出された非価格要素提案書を基に、表5に示す42項目について、表6に示すA～Eの5段階評価を行い、点数化した。

表 5 審査項目、審査の視点及び配点

審査項目	No.	小項目	審査の視点	配点	
1 設計・施工計画に関する事項				30	
(1) 施設の安定稼働	1	安定処理	・過年度の納入施設におけるトラブルを踏まえた技術改善等の実績に基づき、信頼性及び耐久性があり、安定して使用できるプラントシステムについて、優れた提案がなされているか。	2	8
	2	ごみ量、ごみ質変動への対応(施設面)	・ごみ量、ごみ質の変動に対して安定的かつ効率的なごみ処理を行うための施設上の工夫について優れた提案がなされているか。	2	
	3	長期使用可能な施設建設	・本施設の耐用年数 30 年以上を見据えた優れた提案がなされているか。	1	
	4	維持管理の容易性	・プラントの点検及び補修が容易であり、トラブル発生時においても迅速に復旧できるプラントシステムについて、優れた提案がなされているか。 ・屋根、外壁、内装等の仕上げについて、メンテナンスが容易かつ耐久性に優れた提案がなされているか。	1	
	5	施設の強靱化	・地震、風水害等の自然災害に対する施設強靱化(耐震、炉の立下げ・立上げ等)、避難ルート等の施設上の工夫、避難所機能に関して、優れた提案がなされているか。	2	
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	6	工事中の周辺への環境配慮	・長期となる工事に対し、周辺の住民の生活環境(大気、騒音、振動、景観等)を守るため、工程、工法、自主基準、環境モニタリング等の対策、工夫について優れた提案がなされているか。 ・工事に対する周辺住民等へのイメージアップにつながる対策や、工事工程等の情報公開について優れた提案がなされているか。	1	8
	7	環境保全対策(施設面)	・周辺の住民の生活環境を守るための設計、施工上の工夫・対策(公害防止対策設備等)について優れた提案がなされているか。	1	
	8	省エネルギー化	・助燃剤、電力等のエネルギー投入量の低減を図ったシステムとなっているか。	1	
	9	温室効果ガス(CO ₂)の低減	・本施設の稼働に伴う温室効果ガスの排出量が少ないシステムとなっているか。	1	
	10	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用(施設面)	・熱回収率を高め、使用電力の最小化(省エネルギー)を図り、売電電力量が最大となるシステムが提案されているか。	3	
	11	粗大ごみ処理施設における資源回収(施設面)	・粗大ごみ処理施設で資源回収量を増やすための施設面での工夫について、優れた提案がなされているか。	1	
(3) 配置・動線計画	12	施設の配置・動線計画	・各施設の配置計画及び動線計画について、既存施設、周辺施設及び道路等の事業用地の特徴や各設備及び諸室の機能的なつながりやゾーニングが考慮された、合理的かつ安全で効率的な施設配置及び車両動線計画について優れた提案がなされているか。	3	3

審査項目	No.	小項目	審査の視点	配点	
(4) 周辺環境との調和	13	意匠計画	・建築物・煙突の形状や材料、色彩計画について、地域特性を踏まえるとともに、圏央道や相模川対岸からの視点を意識し、圧迫感軽減や事業実施区域全体の一体性及び周辺環境との調和に配慮された優れた提案となっているか。	3	4
	14	外構計画	・施設の外構、植栽等について、地域特性を踏まえ、事業実施区域全体の一体性及び周辺環境との調和に配慮された優れた提案となっているか。	1	
(5) 施工計画	15	工事中の安全対策	・工事中の作業体制及び労働者の安全確保について優れた提案がなされているか。 ・地域住民や通学者等の安全確保について優れた提案がなされているか。	1	4
	16	工程管理	・大規模かつ複合的な工事の実施に対し、確実に手戻りなく、効率的かつ円滑に行うための工程計画、施工上の工夫について優れた提案がなされているか。 ・工期短縮のための工夫について優れた提案がなされているか。	2	
	17	情報管理計画(施設面)	・民間事業者が管理する施設の各種情報に係る組合との共有及び管理方法について優れた提案がなされているか。	1	
(6) 環境学習・啓発施設	18	環境学習・啓発施設	・見学者が興味を持ってごみの減量化、環境問題について学習でき、かつ、意識啓発に効果的な啓発設備、体験型設備等施設上の工夫について優れた提案がなされているか。	2	3
	19	見学者動線計画	・運営事業者と見学者の動線が交錯せず、子ども、高齢者、障がい者等見学者の年齢や立場等に配慮した安全性の高い見学ルート、見学窓の配置等について具体的かつ優れた提案がなされているか。	1	
2 運営計画に関する事項				30	
(1) 受付・受入管理計画	20	効率的かつ円滑な受付・受入	・効率的かつ円滑な受付・受入業務に関する運営上の工夫について優れた提案がなされているか。	3	3
(2) 運転管理計画	21	安全な運転計画	・運転、点検、補修工事における従業員及び作業員の安全確保、搬入者や見学者等の安全確保等運営時の人災低減のための方策について優れた提案がなされているか。	2	10
	22	ごみ量、ごみ質変動への対応(運営面)	・ごみ量、ごみ質の変動に対して安定的かつ効率的なごみ処理を行うための運営上の工夫について優れた提案がなされているか。	2	
	23	粗大ごみ処理施設における資源回収(運営面)	・粗大ごみ処理施設での資源回収量を増やすための運営面での工夫について、優れた提案がなされているか。	1	
	24	焼却灰等の発生抑制・資源化	・ごみ中間処理施設から排出される焼却灰等は、資源化のための適正な処理を行うとともに、焼却灰等の排出抑制に努めたシステムとなっているか。 ・組合が行う焼却灰等の確実な資源化を支援するための具体的かつ実現可能な提案がなされているか。	3	

審査項目	No.	小項目	審査の視点	配点	
	25	焼却残渣資源化委託先の確保	・焼却残渣の資源化委託先について、具体的かつ実現可能な提案がなされているか。	2	
(3) 維持管理計画	26	事業期間終了時の対応	・施設運営の引継ぎ時における組合支援策について優れた提案がなされているか。	2	4
	27	長期使用可能な施設運営	・本事業期間及び本施設の耐用年数30年以上を見据えた施設運転、維持管理方法について優れた提案がなされているか。 ・効果的かつ確実な点検補修計画について優れた提案となっているか。	2	
(4) 情報管理計画	28	情報管理計画(運営面)	・民間事業者が管理する運営面の各種情報に係る組合との共有及び管理方法について優れた提案がなされているか。	1	3
	29	情報公開	・施設稼働中における周辺住民への情報公開方法に関して、優れた提案がなされているか。	2	
(5) 環境管理計画	30	環境保全対策(運営面)	・施設稼働中の周辺の住民の生活環境を守るための運営上の工夫・対策(公害防止対策設備等)、運転・維持管理上の工夫・対策(要監視基準値、停止基準値、運転管理基準値の設定と監視方法、超過時の対応等)について優れた提案がなされているか。	2	2
(6) 余熱利用及び売電計画	31	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用(運営面)	・年間を通じて、隣接する既ふれあいプラザのリニューアル施設へ温水供給を行いつつ、売電を安定的に実施できる体制について優れた提案がなされているか。	2	2
(7) 防災管理計画	32	自然災害等への対応	・地震、風水害等の自然災害時の対応におけるごみ処理の継続、緊急体制、早期復旧及び運営開始、来場者、避難者及び従業員の安全確保に関して、優れた提案がなされているか。	2	4
	33	地域防災拠点	・防災拠点機能及び避難所としての役割に関する方針、取組について、具体的かつ実現可能な提案がなされているか。 ・災害廃棄物の受け入れ(処理)に関して、優れた提案がなされているか。	2	
(8) 住民・見学者等対応	34	住民・見学者対応	・住民対応及び見学者対応に係る方法について優れた提案がなされているか。	2	2
3 事業計画に関する事項				10	
(1) 実施方針・体制	35	実施方針	・本事業の基本方針を理解し、実現するための本事業の実施方針について優れた提案がなされているか。	1	2
	36	実施体制	・入札参加者の実施体制において、構成員、協力企業等の役割、バックアップ体制等に優れた提案がなされているか。また、提案された体制が実現的かつ効果的であるか。 ・各々の役割分担が明確で、かつ、適正な人員配置及び人員の教育計画について優れた提案がなされているか。	1	

審査項目	No.	小項目	審査の視点	配点	
(2) 事業の安定性	37	長期収支計画の安定性	・安定した事業経営計画及び事業収支計画が提案されているか。 ・事業の安定化を図るための工夫について優れた提案がなされているか。	1	3
	38	リスク管理と対応策	・本事業の設計・施工面及び運営面におけるリスクを具体的かつ適切に認識し、その対応について優れた提案がなされているか。	1	
	39	組合財政負担の低減	・設計上及び運営時において組合の財政負担を低減させる工夫について優れた提案がなされているか。	1	
(3) 地元雇用・地域貢献	40	地域社会への貢献	・施工時及び運営時における地元企業(構成市町村内)の活用及び地元雇用について優れた提案がなされているか。	2	3
	41	地元企業への支援と協働	・施工時及び運営時における地元企業(構成市町村内)への支援及び協働について優れた提案がなされているか。	1	
(4) その他提案	42	自由提案	・本事業をよりよい事業とするための積極的かつ有用な提案がなされているか。	2	2
合計(= 1 + 2 + 3)				70	

表 6 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	当該審査項目において特に優れている	配点 × 1.0
B	AとCの中間程度	配点 × 0.75
C	当該審査項目において優れている	配点 × 0.5
D	CとEの中間程度	配点 × 0.25
E	当該審査項目において優れているとは認められない	配点 × 0

各審査項目の評価点については、次の算定式①により、選定部会の各委員が個別に行った評価の平均値とした。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値を算出した。

【算定式①】非価格要素点の算定式	
非価格要素点	= Σ (各審査項目の得点) / 委員人数 (8名)

非価格要素点結果を表 7 に示す。

表 7 非価格要素点結果

審査項目	No.	小項目	配点		もみじグループ得点	
1 設計・施工計画に関する事項			30		21.92	
(1) 施設の安定稼働	1	安定処理	2	8	1.56	6.31
	2	ごみ量、ごみ質変動への対応（施設面）	2		1.69	
	3	長期使用可能な施設建設	1		0.78	
	4	維持管理の容易性	1		0.78	
	5	施設の強靱化	2		1.50	
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	6	工事中の周辺への環境配慮	1	8	0.59	5.82
	7	環境保全対策（施設面）	1		0.69	
	8	省エネルギー化	1		0.69	
	9	温室効果ガス（CO ₂ ）の低減	1		0.63	
	10	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（施設面）	3		2.53	
	11	粗大ごみ処理施設における資源回収（施設面）	1		0.69	
(3) 配置・動線計画	12	施設の配置・動線計画	3	3	1.78	1.78
(4) 周辺環境との調和	13	意匠計画	3	4	2.53	3.25
	14	外構計画	1		0.72	
(5) 施工計画	15	工事中の安全対策	1	4	0.59	2.38
	16	工程管理	2		1.13	
	17	情報管理計画（施設面）	1		0.66	
(6) 環境学習・啓発施設	18	環境学習・啓発施設	2	3	1.63	2.38
	19	見学者動線計画	1		0.75	
2 運営計画に関する事項			30		21.52	
(1) 受付・受入管理計画	20	効率的かつ円滑な受付・受入	3	3	2.25	2.25
(2) 運転管理計画	21	安全な運転計画	2	10	1.25	7.25
	22	ごみ量、ごみ質変動への対応（運営面）	2		1.38	
	23	粗大ごみ処理施設における資源回収（運営面）	1		0.59	
	24	焼却灰等の発生抑制・資源化	3		2.34	
	25	焼却残渣資源化委託先の確保	2		1.69	
(3) 維持管理計画	26	事業期間終了時の対応	2	4	1.44	2.88
	27	長期使用可能な施設運営	2		1.44	
(4) 情報管理計画	28	情報管理計画（運営面）	1	3	0.63	1.88
	29	情報公開	2		1.25	
(5) 環境管理計画	30	環境保全対策（運営面）	2	2	1.56	1.56
(6) 余熱利用及び売電計画	31	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（運営面）	2	2	1.38	1.38
(7) 防災管理計画	32	自然災害等への対応	2	4	1.38	2.88
	33	地域防災拠点	2		1.50	
(8) 住民・見学者等対応	34	住民・見学者対応	2	2	1.44	1.44
3 事業計画に関する事項			10		7.07	
(1) 実施方針・体制	35	実施方針	1	2	0.78	1.44
	36	実施体制	1		0.66	
(2) 事業の安定性	37	長期収支計画の安定性	1	3	0.59	1.93
	38	リスク管理と対応策	1		0.56	
	39	組合財政負担の低減	1		0.78	
(3) 地元雇用・地域貢献	40	地域社会への貢献	2	3	1.63	2.26
	41	地元企業への支援と協働	1		0.63	
(4) その他提案	42	自由提案	2	2	1.44	1.44
合計(= 1 + 2 + 3)			70		50.51	

各審査項目に対する講評を表 8 に示す。

表 8 各審査項目に対する講評

審査項目	No.	小項目	講評
1 設計・施工計画に関する事項			
(1) 施設の安定稼働	1	安定処理	・代表企業の多数の納入実績における過去のトラブル事例をデータベース化し、技術者間や施設間で情報共有できる体制を整えている点で、評価できる。
	2	ごみ量、ごみ質変動への対応（施設面）	・代表企業が自社開発したシステム等を採用し、他施設トラブル事例に基づく必要な予防策を本施設に適用している点で、評価できる。
	3	長期使用可能な施設建設	・補修頻度の低減を図ることができる方式の採用等、長寿命化設計を行っている点で、評価できる。
	4	維持管理の容易性	・適切なトラブル対応を可能にする体制の整備や維持管理性の高い材質、工法等の採用の提案があり、評価できる。
	5	施設の強靱化	・最大規模の地震、水害、風害を想定した施設の強靱化対策を施している点等が、評価できる。
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	6	工事中の周辺への環境配慮	・環境負荷を低減するための提案等がなされているが、周辺住民等へのイメージアップ対策について、より積極的な取組を期待したい。
	7	環境保全対策（施設面）	・基準値を遵守するための最新システムの導入等を提案しており、評価できる。
	8	省エネルギー化	・助燃剤を極力必要としないシステムの導入や省エネ技術の採用等の提案があり、評価できる。
	9	温室効果ガス（CO ₂ ）の低減	・代表企業の独自開発技術を含む省エネルギー技術等を採用している点で、評価できる。
	10	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（施設面）	・売電量の安定化と最大化を図るため、タービン設計の工夫等の提案があり、評価できる。
	11	粗大ごみ処理施設における資源回収（施設面）	・高効率な機器の採用と、資源回収量を増やすための処理工程について提案がなされており、評価できる。
(3) 配置・動線計画	12	施設の配置・動線計画	・一般来場者エリアと工場エリアの分離等の提案がなされているが、安全かつ機能的な施設の実現に向け、より合理的な車両動線の実現に期待したい。
(4) 周辺環境との調和	13	意匠計画	・圧迫感の軽減を図った煙突形状や施設背景を考慮した外観デザイン等を提案しており、評価できる。
	14	外構計画	・潜在自然植生の配植や地域の教育活動への貢献に資する提案がなされており、評価できる。
(5) 施工計画	15	工事中の安全対策	・過去のトラブル実績に基づく対応策等の提案がなされているが、作業員への安全教育の更なる徹底を期待したい。

審査項目	No.	小項目	講評
(6) 環境学習・啓発施設	16	工程管理	・工期遵守及び短縮のための提案等がなされているが、施工のより一層の効率化を期待したい。
	17	情報管理計画 (施設面)	・代表企業が自社開発したシステムの活用等の施策と情報管理方法について提案がなされており、評価できる。
	18	環境学習・啓発施設	・見学者の環境学習空間についての具体的提案に加え、陳腐化対策も考慮されており、評価できる。
	19	見学者動線計画	・安全確保を考慮した見学者ルートやバリアフリー対応等の提案があり、評価できる。
2 運営計画に関する事項			
(1) 受付・受入管理計画	20	効率的かつ円滑な受付・受入	・受入管理体制の整備に向けた提案がなされており、評価できる。
(2) 運転管理計画	21	安全な運転計画	・過去のトラブル実績に基づく労働災害・事故の防止対策を本施設に適用している点で、評価できる。
	22	ごみ量、ごみ質変動への対応 (運営面)	・安定的かつ効率的なごみ処理のための提案があり、評価できる。
	23	粗大ごみ処理施設における資源回収 (運営面)	・事前選別の実施等の提案がなされているが、資源回収量を増やすためのより効果的な取組を期待したい。
	24	焼却灰等の発生抑制・資源化	・代表企業が自社開発したシステムの活用等の積極的な提案があり、評価できるが、資源化方法について、政策動向等を踏まえた継続的な検討を期待したい。
	25	焼却残渣資源化委託先の確保	・複数の資源化委託先について提案されており、評価できる。
(3) 維持管理計画	26	事業期間終了時の対応	・事業期間終了時に加え、長期的な施設運営に係る組合支援策の提案がなされており、評価できる。
	27	長期使用可能な施設運営	・代表企業が自社開発したシステムの運用等、長期運営に向けた積極的な提案がなされており、評価できる。
(4) 情報管理計画	28	情報管理計画 (運営面)	・組合のモニタリング業務の負荷軽減に資する具体的な情報管理方法及び共有の提案があり、評価できる。
	29	情報公開	・情報・広告媒体の活用等の提案があり、評価できるが、周辺住民及び見学者等の理解が得られるよう、より効果的な取組を期待したい。
(5) 環境管理計画	30	環境保全対策 (運営面)	・各種基準値管理の設定や環境モニタリングの強化等の提案があり、評価できる。
(6) 余熱利用及び売電計画	31	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用 (運営面)	・厚木市ふれあいプラザとの連携体制の構築等、温水供給を安定的に実施するための提案があり、評価できるが、組合の売電収入を最大化するための計画立案に期待したい。

審査項目	No.	小項目	講評
(7) 防災管理計画	32	自然災害等への対応	・事業継続計画や防災体制についての提案があり、評価できる。
	33	地域防災拠点	・避難所機能の確保、災害廃棄物処理に備えた運転計画等の提案があり、評価できる。
(8) 住民・見学者等対応	34	住民・見学者対応	・他施設トラブル事例に基づく必要な予防策を本施設に適用している点や、施設見学時の組合支援策について具体的な提案があり、評価できる。
3 事業計画に関する事項			
(1) 実施方針・体制	35	実施方針	・施設整備の基本方針に基づき、明確なコンセプトを提案しており、評価できる。
	36	実施体制	・代表企業を中心としたバックアップ体制や人員体制等について提案があり、評価できるが、職員の教育計画についてより一層の充実を期待したい。
(2) 事業の安定性	37	長期収支計画の安定性	・具体的な事業経営計画等の提案がなされているが、より安定的な事業運営の実現を期待したい。
	38	リスク管理と対応策	・感染症対策を含む各種リスクの顕在化・最小化のための方策等の提案がなされているが、リスク管理の確実な実行を期待したい。
	39	組合財政負担の低減	・長寿命機器の採用等組合の財政負担低減に向けた具体的な提案があり、評価できる。
(3) 地元雇用・地域貢献	40	地域社会への貢献	・地元企業及び人材の活用に向けた具体的な提案があり、評価できるが、全ての構成市町村について活用されることを期待したい。
	41	地元企業への支援と協働	・施工時の地元企業への技術支援、商工会との協働等が提案されており、評価できるが、更なる連携を期待したい。
(4) その他提案	42	自由提案	・積極的な提案があり、評価できるが、実施に当たっては様々な課題が想定されるため、組合の意向を十分に踏まえ、提案の実現に向け、具体的な取組を期待したい。

(2) 価格審査

入札参加者の立会いの下、令和3年3月19日に開札を行い、入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

また、開札時に、定量化限度額は予定価格に85%を乗じた額であることを公表した。

選定部会では、開札結果の報告を受け、次の算定式②により、表9のとおり入札価格の点数化を行った。

【算定式②】 価格点の算定式	
① 最低入札価格 > 定量化限度額の場合	価格点 = 30点 × (最低入札価格 / 提案価格)
② 最低入札価格 ≤ 定量化限度額の場合	価格点 = 30点 × (定量化限度額 / 提案価格)

※ 定量化限度額以下の提案価格は定量化限度額とみなし、30点満点とする。

※ 定量化限度額は、「予定価格の85%」とする。

表9 価格点結果

項目	もみじグループ	定量化限度額 (予定価格の85%)	予定価格 (上限額)
施設整備費	22,447,000,000円	—	22,447,990,000円
運営費	13,553,000,000円	—	13,596,810,000円
合計	36,000,000,000円	30,638,080,000円	36,044,800,000円
価格点	30.00点		

※ 消費税及び地方消費税を含まない。

(3) 総合評価

(1)の非価格要素点と、(2)の価格点から、次の算定式③により、表 10 のとおり総合評価点を算出した。

【算定式③】 総合評価点の算定式	
総合評価点	= 非価格要素点 + 価格点

表 10 総合評価点結果

	もみじグループ
非価格要素点	50.51 点
価格点	30.00 点
総合評価点	80.51 点

6.3 最優秀提案者の選定

選定部会は、6.2 (3) 総合評価の結果に基づき、荏原環境プラント株式会社 営業本部を代表企業とするもみじグループを最優秀提案者として選定した。

7 総評

本入札への応募は結果的に1グループであったが、その提案内容は代表企業の豊富な経験とノウハウが十分に盛り込まれ、評価できるものであった。今回、事業提案書作成に関する多大なる努力に対し敬意を表したい。

選定部会は、厳正なる審査の結果、荏原環境プラント株式会社 営業本部を代表企業とするもみじグループを本入札における最優秀提案者として選定した。

もみじグループの提案は、施設面でのごみ量・ごみ質変動への対応、施設面での安定的な熱回収及びエネルギー有効活用、意匠計画、環境学習・啓発施設、焼却残渣資源化委託先の確保、地域社会への貢献について、具体的かつ実現性がある優れた内容であることを評価した。

一方、工事中の周辺への環境配慮、施設の配置・動線計画、工事中の安全対策、工程管理、運営面での粗大ごみ処理施設における資源回収、長期収支計画の安定性、リスク管理と対応策については、厚木愛甲環境施設組合の意向を十分に踏まえて実施することを期待したい。

また、併せて公共サービスの更なる向上に向け、もみじグループは次の点などに留意して本事業を進められたい。

- ① 設計・建設及び運営期間を通して、要求水準事項及び提案事項については、誠意をもって確実に履行すること。
- ② 遠隔サポート体制について法的な整理を行うとともに、指揮命令系統を明確にすること。
- ③ 最新の法制度や技術動向を収集し、温室効果ガスの削減や焼却残渣の発生量の削減に努めるとともに、組合の意向を踏まえ、提案以外の資源化方法についても継続的に検討していくこと。
- ④ 運営期間全体を通して、提案売電電力量を達成し、組合の売電収入の最大化につながる運転管理計画及び売電計画を立案し、実行すること。
- ⑤ 本事業は長期間にわたるため、構成市町村の住民、とりわけ建設地周辺の住民との信頼関係の構築に向けて、十分な情報提供・対話等に努めること。
- ⑥ デジタル技術の導入に伴い、職員にはより高度かつ幅広い技能が求められることから、デジタル化に対応した職員の教育について確実に実施すること。
- ⑦ セルフモニタリングを適正に実施し、その結果を運営改善に活用すること。
特に、リスク管理については、リスク管理状況に関する適切な評価を行い、評価結果に基づき、リスク管理計画を精査・見直しの上、これを実践するといった、リスク管理プロセスを確立し、確実に実施すること。
- ⑧ 全ての構成市町村について、地元企業及び人材を積極的に活用する取組を進めるとともに、地元企業の技術力や競争力の向上につながるよう、更なる技術支援を行うこと。

最後に、厚木愛甲環境施設組合と荏原環境プラント株式会社 営業本部を代表企業とするもみじグループが、今後長期にわたり良好なパートナーシップを構築し、事業目的の達成に向け協働して取り組むとともに、本事業をより良いものにするため、より一層の努力をされることを期待する。

令和3年3月30日

厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会
事業者選定専門部会 部会長 荒井 喜久雄